



J-クレジット活用セミナー

【J-クレジットの創出・活用に向けた実務担当者向け】

森林分野のJ-クレジット創出について

株式会社ウェイストボックス

内容

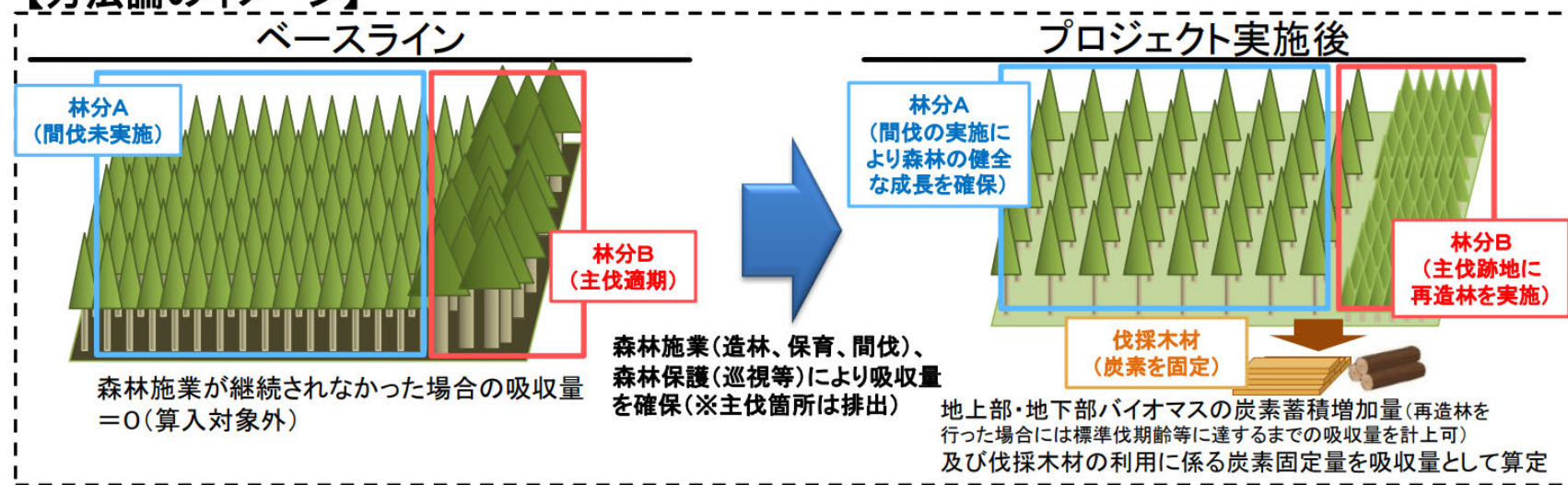
- ▶ ・森林分野におけるJ-クレジット制度の概要
- ▶ ・森林管理プロジェクトについて
- ▶ ・改定情報



森林分野におけるJ-クレジット制度の概要

・森林分野におけるクレジット創出のイメージ（森林経営活動）

【方法論のイメージ】



森林分野におけるJ-クレジット制度の概要

・ 森林分野におけるクレジット創出者はどんな団体？

27	2014/02/12	南三陸森林組合 7370505000253	宮城県本吉郡南 三陸町	入谷生産森林組合 6370505000254	私有林における森林経営 活動
31	2014/03/24	御嵩町 4000020215210	岐阜県可児郡御 嵩町	御嵩町 4000020215210	町有林における森林経営 活動
34	2014/03/24	山長林業株式会社 4170001008963	和歌山県田辺市	山長林業株式会社 4170001008963	私有林における森林経営 活動
36	2014/03/24	津山市 5000020332038	岡山県津山市	津山市 5000020332038	市有林における森林経営 活動
37	2014/02/12	リベステ株式会社 3030001038249	北海道日高郡新 ひだか町 北海道様似郡様 似町	リベステ株式会社 3030001038249	私有林における森林経営 活動
58	2015/02/19	木曽町 1000020204323	長野県木曽郡木 曽町	-	町有林における森林経営 活動
59	2015/02/23	公益社団法人長崎県林業 公社 4310005005174	長崎県長崎市 長崎県佐世保市 長崎県平戸市 長崎県松浦市 長崎県西海市 長崎県東彼杵郡 東彼杵町	公益社団法人長崎県林業 公社 4310005005174	私有林における森林経営 活動
60	2015/02/23	鳥取県東部森林組合 7270005000359	鳥取県鳥取市 鳥取県岩美郡岩 美町	鳥取県東部森林組合 7270005000359	私有林における森林経営 活動

- ・ プロジェクト実施者の多くが県、市町村、森林組合、公社等。
- ・ 一部エネルギー企業や、木材・林業に
に係りが深い企業の社有林を対象とした
プロジェクト。

森林分野におけるJ-クレジット制度の概要

- ・森林分野については、森林管理によって吸収されたCO2を認証し、クレジットが発行される。
- ・森林分野でのJ-クレジット制度では、追加性に加えて永続性要件を満たす必要がある。

追加性

- ・クレジットは、放っておいては進まない吸収活動に由来するものでなければならない。
- ベースラインは、森林が継続されなかった場合の吸収量（=0）であり、森林管理によって吸収量が増加したものを対象とする。
- ・J-クレジットの認証対象は、コスト節減といった理由を超えて温暖化対策のために敢えて取り組まれた、経済・経営的見地からすれば余計な＝「追加的」な活動に限定される。
- 森林経営活動プロジェクトでは、認証対象期間中（期間中に実施した主伐の後に再造林した林分については期間終了後10年間も含む）の収支が赤字の見通しであること。
- 何れについても、経済的障壁のある蓋然性が高いと見込まれるため追加性の評価は不要とされる場合があり、森林管理プロジェクトは次の3つの場合。
 - ①森林経営活動で認証対象期間中に主伐の計画なし
 - ②森林経営活動で認証対象期間中の主伐実施地の全てで再造林も計画されている
 - ③植林活動および再造林活動

森林分野におけるJ-クレジット制度の概要

- ・森林分野については、森林管理によって吸収されたCO2を認証し、クレジットが発行される。
- ・森林分野でのJ-クレジット制度では、追加性に加えて永続性要件を満たす必要がある。

永続性

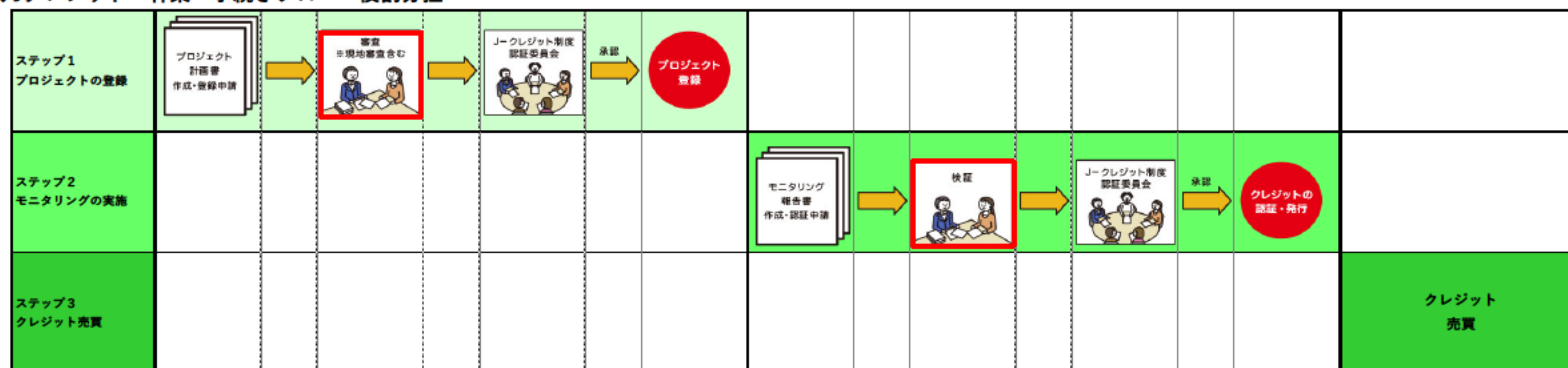
- ・森林吸収クレジットは、過去の吸収実績に加え、未来における炭素固定の維持「**永続性**」が併せて担保されなければならない。
 - 森林吸収クレジットは、例えば2021年度には森林が適切に施業管理されていたという事実の報告・検証を踏まえて、2022年度以降に認証される。
 - 仮に、その森林の一部で2023年度に主伐が行われれば、主伐箇所では2021年度分の吸収量を認証された樹木はCO2吸収源としての森林から外れてしまうので、吸収した炭素を固定し続けることが担保されなくなる。
- ・森林経営活動に由来するクレジットの「永続性」は、対象森林において森林経営計画を、認証対象期間（**8～16年間**）中から**同期間終了10年後**まで、**最長26年間**にわたって継続することによって担保。
 - 森林経営計画が上記期間中に（部分的にでも）継続されなかった場合、プロジェクト実施者は、非継続となった箇所で認証されたクレジットを補填（取消または返納）する。

森林分野におけるJ-クレジット制度の概要

・クレジットの認証・発行を受けるまでの手順

- ・J-クレジットが認証・発行されるまでには、①「プロジェクト」として登録、②活動状況のモニタリング、③クレジット認証を申請、の3ステップが必要。
- ・クレジット認証を受けられるのは過去分の排出削減・吸収量なので、プロジェクト登録からクレジット認証までは間が空く(2022年度に登録しても、同年度分の認証を申請できるのは23年4月以降)。
- ・森林管理プロジェクトの**審査**ができるのは、JMA、JQA、ソコテックの**3社**。
- ・森林管理プロジェクトのクレジット認証申請は、認証申請期間を年度単位で分割して行う(すなわち**最大16回**まで申請可。複数年度をまとめたの申請、**16か年度分の一括申請も可**)。
- ・森林経営活動プロジェクトは、認証対象期間終了以降に、**森林経営計画が引き続き存在し、そこで間伐が**(間伐適齢の林分が無い場合は造林または保育が)**1か所でも計画**されていれば、同じ森林についても再び登録が可能。
- ・認証対象期間に関係なく、発行された**J-クレジットに有効期限はない**。

◆Jクレジット・林業：手続きフロー・役割分担



森林管理プロジェクトについて

・森林管理プロジェクトに適用される方法論は以下の3つ

- ①：森林経営活動（FO-001）
- ②：植林活動（FO-002）
- ③：再造林活動（FO-003）

- ・2023年1月末時点の登録プロジェクトは①が68件。制度が発足した2013年度から2021年度までの9年間で51件だったところ、2022年度に入ってから17件(33%)も急増。
- ・②は登録なし。森林ではなかった土地に植林して森林に変えられるような適地が殆どないため。
- ・③は2022年8月に策定された新方法論。すでに問い合わせ、登録に向けた動きあり。
- ・①②の対象は「森林経営計画」を策定している(策定する)森林(同計画により適切に管理されていることを担保)。
- ・③の再造林活動は、地理的に点在する対象地について徐々に進められることが想定されるので、「一体的なまとまりを持った森林において、計画に基づいた効率的な森林の施業と適切な森林の保護を通じて、森林の持つ多様な機能を十分に発揮させること」を目的とする森林経営計画の策定は要件とされない。同じ理由から③では、森林方法論では唯一、プログラム型プロジェクト(複数の活動を取りまとめて一つのプロジェクトとする形態。取りまとめる活動はプロジェクト登録後も随時追加可)も可。

方法論名(番号)	対象となる活動	登録PJ数
森林経営活動(FO-001)	森林経営計画に沿って施業される森林の経営	68
植林活動(FO-002)	2012年度末時点で森林でなかった土地での植林 (クレジット認証までに森林経営計画の策定が必要)	0
再造林活動(FO-003)	土地所有者により無立木のままとされている林地での 第三者による再造林(森林経営計画は不要)	0

森林管理プロジェクトについて

- ・森林経営活動プロジェクトの対象となる森林および伐採木材は下表の通り。

	「森林経営活動」方法論の対象となる森林・用材	各々について行うこと
プロジェクト計画の登録を行う森林 (右記1～3の何れか)	1. 森林経営計画の区域全体 2. 森林経営計画の区域のうちプロジェクト実施者自らが所有または管理する区域の全体 3. 森林経営計画の区域のうちプロジェクト実施者自らが所有または管理する区域の一部（但し次の要件①～③全てを満たす場合：①500ha以上②恣意的に抽出していない③主伐計画林分を含む）	認証対象期間8～16年＋その後10年＝最大26年間に亘り、 永続的な森林管理を担保すべく 森林経営計画を維持し、 計画書や伐採届・造林届等を 毎年提出（永続性担保措置）
プロジェクト実施地 (プロジェクト計画の登録を行った森林から抽出)	・1990年度以降に造林、保育または間伐を実施した育成林※1（任意抽出可）	造林・保育・間伐面積に
	・認証対象期間開始後に森林の保護※2を実施した天然生林（制限林のみ※3。任意抽出可）	認証申請期間の林齢に対応する 幹材積成長量等乗じ吸収量を算定
	・認証対象期間開始後に主伐を実施した育成林（任意抽出不可＝必ずプロジェクト実施地に含める）	主伐面積に主伐時林齢に対応する 幹材積等乗じ排出量を算定
	・認証対象期間開始後に実施した主伐の跡地に再造林した育成林（任意抽出可）	再造林面積に標準伐期齢に対応する 幹材積等乗じ吸収量を算定
伐採木材 (同森林から出荷)	・認証対象期間開始後に出荷した製材用材・合板用材（主伐材および間伐材を含む）	出荷量に加工歩留まりや永続性残存率を 乗じて製品中に固定される吸収量を算定

※1 認証対象期間開始後にこれら施業を実施した林分以外は、同開始後に、施業履歴に加えて森林の保護の実施も必要。

※2 森林病虫害の駆除及び予防、鳥獣害の防止、火災の予防、境界確認及び森林の巡視。

※3 保安林、保安施設地区、国立公園（特別保護地区、第1種特別地域、第2種特別地域に限る）、国定公園（国立公園に同じ）、自然環境保全地域特別地区及び特別母樹林に指定された森林。

11

森林管理プロジェクトについて

・吸収量・排出量の算定対象について

- ・認証対象期間**開始前**に造林、植栽、保育または**間伐**を実施した育成林は、加えて**認証対象期間開始後**に**森林保護を実施した年度**から**吸収量算定可**なので、**早期の保護実施**が望ましい。
- ・認証対象期間開始後に造林、植栽、保育または間伐を実施した育成林は、その年度から吸収量算定可であり、追加的な保護実施は不要。・天然生林は、森林保護を実施した年度から吸収量算定可（認証対象期間開始前は無関係）。
- ・**主伐排出量**は、主伐林齢までの**蓄積**を主伐年度に**一括算定**するので、森林の年々の成長に基づき算定する吸収量に比べると**面積あたり10倍以上大きく**、吸収量を相殺してしまわないか注意が必要。
- ・主伐跡地に再造林した林分は、標準伐期齢（地域の標準的な主伐林齢）まで吸収量を再造林年度に一括算定することも可（前生樹の主伐排出量が上限）だが、数十年にわたり林況報告が必要。
- ・伐採木材に係る吸収量は、**認証対象期間開始後**で出荷のあった年度に算定。

<認証対象期間が2022年度からの森林経営活動プロジェクトの例>

		(年度)	1990 ~ 2021	認証対象期間 (8~16年間) →						
				22	23	24	25	26	27	28 ...
吸収量 算定対象	1990年度以降（認証対象期間 開始前 ）に造林、保育または間伐を実施した 育成林	間伐	保護					(年々の吸収量を算定)		
		間伐				保護		(年々の吸収量を算定)		
	1990年度以降（認証対象期間 開始後 ）に造林、保育または間伐を実施した 育成林	(施業履歴なし)					間伐	(年々の吸収量を算定)		
	認証対象期間 開始後 に 森林の保護 を実施した 天然生林	保護				保護		(年々の吸収量を算定)		
排出量 算定対象	認証対象期間 開始後 に 主伐 を実施した 育成林	間伐			主伐	←主伐林齢までの蓄積を排出量として一括算定				
		間伐	保護		主伐	←主伐林齢までの蓄積を排出量として一括算定				
吸収量 算定対象	認証対象期間開始後に実施した 主伐の跡地 に 再造林 した 育成林	間伐			主伐	再造林	←標準伐期齢までの吸収量を一括算定			
		間伐			主伐	再造林		(年々の吸収量を算定)		
	認証対象期間開始後に 出荷 した 用材 (木材製品に加工)	-			出荷		出荷			12

【森林の保護】

- ・森林病虫害の駆除及び予防
- ・鳥獣害の防止
- ・火災の予防
- ・境界確認及び森林の**巡視**

森林管理プロジェクトについて

・吸収量・排出量の算定対象について①

- ・森林(伐採木材を除く)の地上部吸収量・排出量は、下表の○印のパラメーターをタテに乗じて算定。
- ・地下部の量は、地上部の量に地下部率(『モニタリング・算定規程』から引用)を乗じる。
- ・実質的にモニタリングが必要なのは**施業面積**と**幹材積成長量／幹材積**についてのみ。
- ・他はデフォルト 値および定数で、プロジェクト計画書／モニタリング報告書の様式(エクセルファイル)に樹種・林齢を 入力すれば自動表示される。
- ・**幹材積成長量／幹材積**は都道府県作成の「**収穫予想表**」等から林齢別デフォルト値を引用(またはデフォルト値から算定)するだけだが、育成林については「**収穫予想表**」が**樹種×地位**(林地のもつ生産力の良し悪しを数等級にランク分けした指数)別となっているので、地位の特定が必要。

吸収・排出量算定対象→		育成林 (吸収)	天然生林 (吸収)	主伐林 (排出)	再造林 (吸収)	各パラメーターのモニタリング方法 森林地位の特定方法
↓吸収・排出量算定で使用するパラメーター						
施業面積 (ha)	1990年度以降に実施した造林、保育又は間伐の面積	○				実測 (施業補助金受給時の実測結果の流用可)
	認証対象期間開始後に実施した森林保護の面積		○			実測 (病害虫駆除・予防以外の場合は森林簿から引用可)
	認証対象期間開始後に実施した主伐の面積			○		実測 (施業補助金受給時の実測結果の流用可)
	認証対象期間開始後に実施した主伐の跡地での再造林の面積				○	実測 (施業補助金受給時の実測結果の流用可)
幹材積 (成長量) (m ³ /ha)	認証申請期間の林齢に対応する幹材積成長量	○				収穫予想表 (林分収穫表) から算定
	認証申請期間の林齢に対応する幹材積成長量(必要なら補正)		○			広葉樹林分収穫表、標準蓄積表等 (森林簿) から算定
	主伐時の林齢に対応する幹材積			○		収穫予想表 (林分収穫表) から引用
	再造林した樹種の標準伐期齢に対応する幹材積				○	収穫予想表 (林分収穫表) から引用
幹材積(成長量)をバイオマス量に換算する係数 (容積密度 t/m ³)		○	○	○	○	『モニタリング・算定規程』から引用
幹のバイオマス量に枝葉のバイオマス量を加算する係数 (拡大係数)		○	○	○	○	
バイオマス量を炭素量に換算する係数 (炭素含有率)		○	○	○	○	
炭素量をCO2量に換算する定数 (CO2/Cの分子量の比: 44/12)		○	○	○	○	定数 (方法論FO-001に記載)
幹材積(成長量)の算定・引用のために森林地位の特定は必要か		必要		必要		樹高を測定し林齢に照らして特定 (地位指数曲線を使用)
			原則不要			例外的に必要な場合は森林簿を参照
					必要	主伐林と同樹種を再造林⇒主伐した林分の地位 主伐林と別樹種を再造林⇒隣接する同樹種林分の地位 13

森林管理プロジェクトについて

・吸収量・排出量の算定対象について②

- ・施業面積は基本的にコンパス測量で実測。閉合差5/100又は座標値3m以下の精度を満たすこと。
- ・**施業補助金を受給**している場合は、受給の際に実施した**実測の結果を使用**できる(登録済みプロジェクトの多くはこれを利用しており、J-クレジットのために実測しているケースは少ない)。
- ・コンパス測量以外でも、**コンパス測量と同等の精度**もしくは施業補助金の申請に**必要な測量精度**(閉合差5/100等)**を満たす方法**は適用可で、オルソ画像による把握も認められる。
- ・育成林について特定が必要な地位は、単数または複数の小班から樹種別に30ha以内で設定したエリア毎に特定すればよく、各エリアの平均的な場所にモニタリングプロット(一辺が最大樹高以上の方形等)を設定して調査を実施。
- ・モニタリングプロットでの調査項目は①樹種②林齢③立木数④胸高直径(毎木)⑤**樹高(胸高直径に基づき選択された特定木10本程度)**。②は、①が森林経営計画と異なる場合のみ特定。
- ・上記⑤から平均樹高を求め、**地位指数曲線**に代入して**地位**を特定。
- ・モニタリングプロットでの調査は、かつては実踏調査が必要だったが、航空機(ドローンを含む)からのレーザ等による測定も認めるよう2021年8月末にルール改定。

測定方法		<従前> 実踏調査	<改定により追加> 航空レーザ・写真
測定対象地		モニタリングプロット	モニタリングプロット または モニタリングエリアグループ
調査項目 ○: 要 ×: 不要	樹種	○ (目視)	○ (写真目視・レーザ反射強度)
	林齢	△ (樹種が森林経営計画と異なる場合は実踏調査により特定)	
	立木数	○ (目視)	× (樹高を測定する木の特定が不要であるため)
	胸高直径	○ (巻尺、輪尺)	× (樹高を測定する木の特定が不要であるため)
	特定木の樹高	○ (携帯測高器)	—
平均上層樹高		—	○ (レーザ)

森林管理プロジェクトについて

・計画書・報告書への入力イメージ

- ・**施業面積**は、プロジェクト計画書・モニタリング報告書の「情報記入シート」に**入力**。
- ・特定された樹種×地位の「収穫予想表」等に記載された幹材積を「**幹材積量算定シート**」に入力すると**幹材積成長量**(連続する林齢の幹材積量の差分)が「**吸収量算定シート**」に**自動表示**。
- ・他の係数は「情報記入シート」に入力した樹齢・林齢に基づき「**吸収量算定シート**」に自動表示され、「**吸収量算定シート**」各行の右端に**林分毎×年度毎の吸収量**が**自動表示**。

＜【吸収量算定用】情報記入シート 記入イメージ＞

【吸収量算定用】情報記入シート 記入イメージ>														樹種・林齢（入力）			施業面積（入力）							
NO.	モニタリング・算定規定を 基に設定・記入		森林経営計画より記入																			地位		
	モニタリング プロット設定 対象グルー プNo.	モニタリ ングプロ ット設 定場所 (プロット 設定小班 に○)	土地の所在											面積 (ha)	樹種	林齢	施業の内容							
			市町村	字(大字)	地番	林班	小班	枝番	その他①	その他②	その他③	その他④	その他⑤				施業種	施業実施 年度	施業面積 (ha)	森林の保 護(巡視 等) 計画年				
1	1	○	檜山村	杉	13	23	い									10.00	シノキ	50	間伐	2015	10.00	2021		
2																								
3																								
4																								
5																								

＜吸収量算定シート 表示・記入イメージ＞

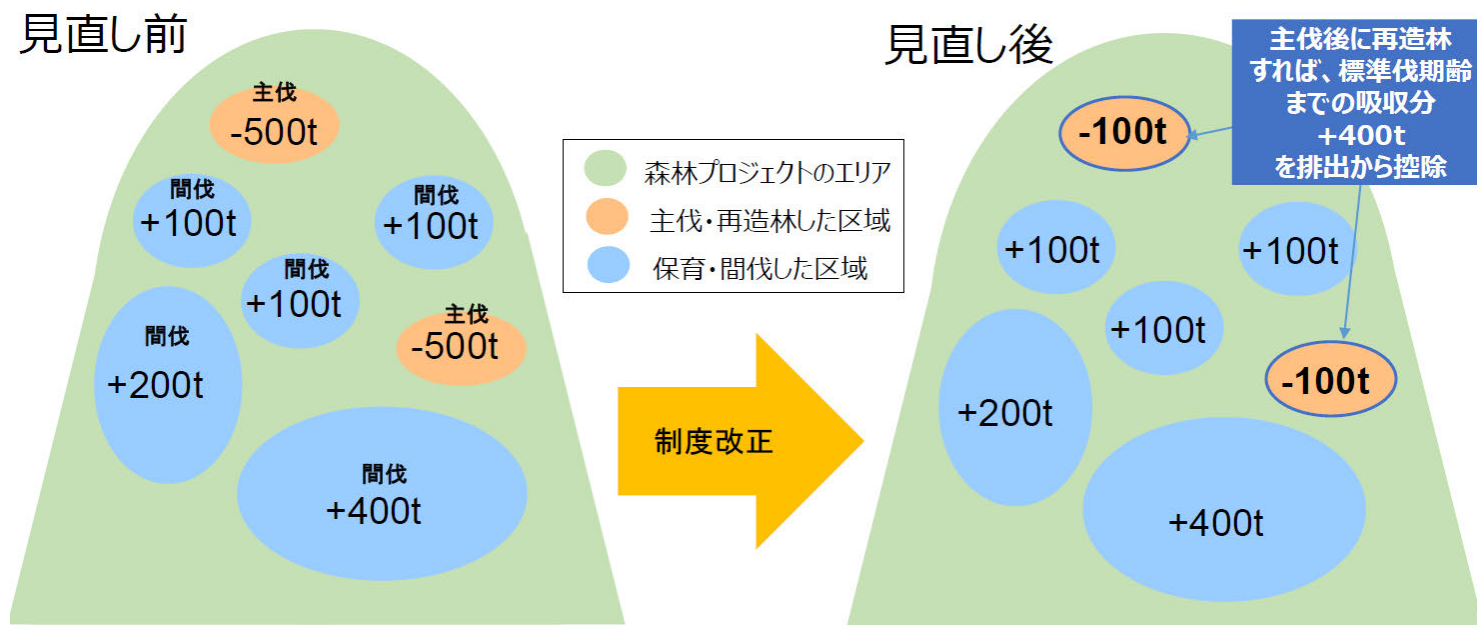
No.		土地の所在情報										面積 (ha)	森林の現況 地番等による 区分(地位)	林種	林齢 (年)	伐採 履歴 (年)	伐採 理由 (年)	伐採 面積 (ha)	伐採 方法 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採 回数 (年)	伐採
-----	--	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------------	---------------------------	----	-----------	-----------------	-----------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	----

幹材積成長量 (自動表示) 各種係数 (自動表示)

20

改定情報（2022年8月10日～）

・主伐を含む森林プロジェクトの吸収量・排出量計上の見直しイメージ



間伐した森林の吸収量
= +900t-CO₂（8年間）
主伐した森林の排出量
= -1000t-CO₂

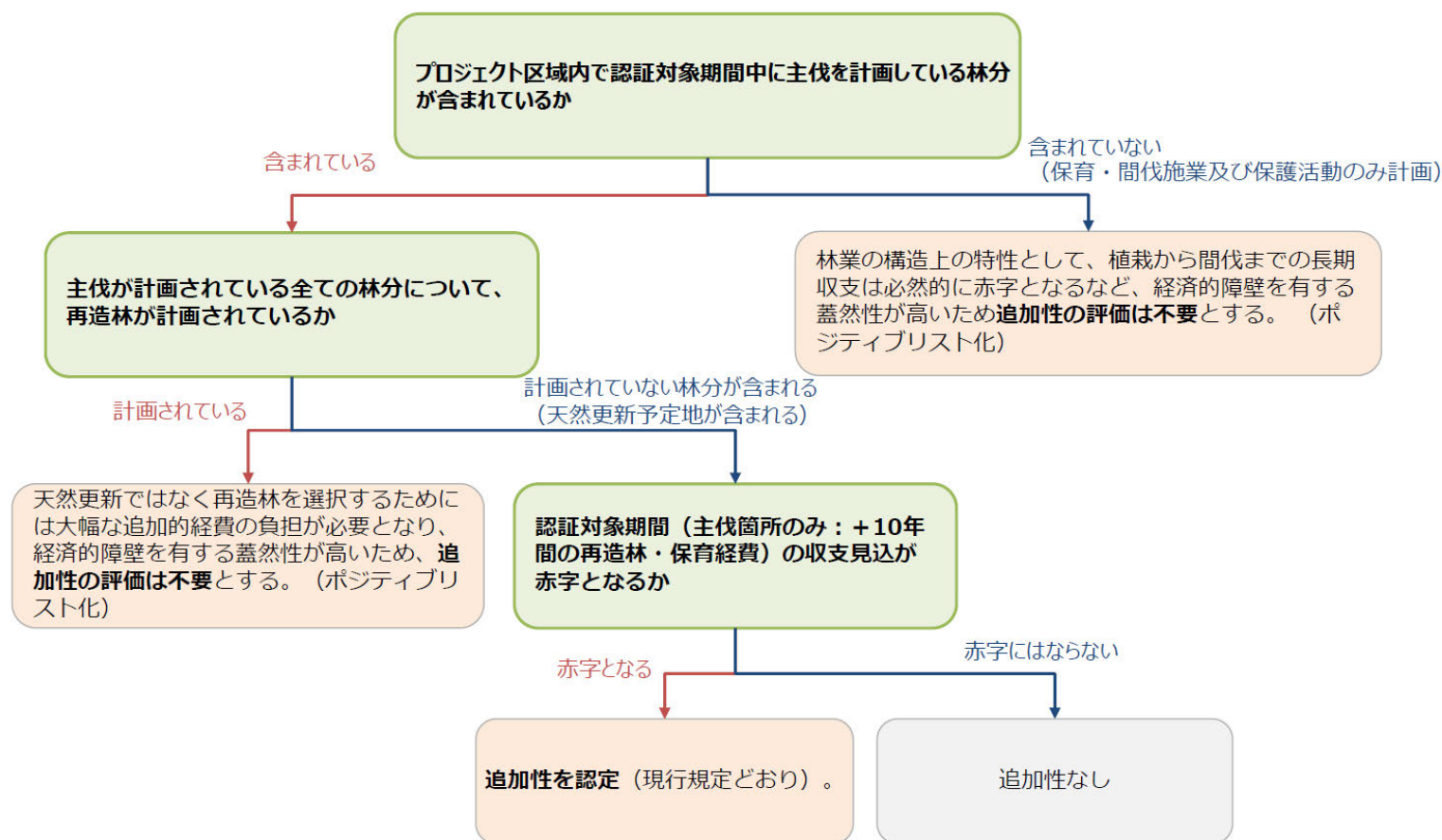
期間計
-100t-CO₂
※排出過多のため
クレジット認証不可

間伐した森林の吸収量
= +900t-CO₂（8年間）
主伐した森林の排出量
= -200t-CO₂

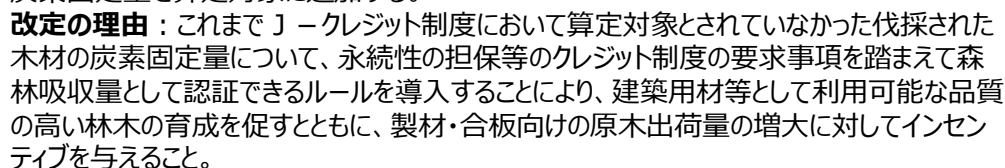
期間計
+700t-CO₂
※クレジット認証可

改定情報（2022年8月10日～）

・追加性の判定方法



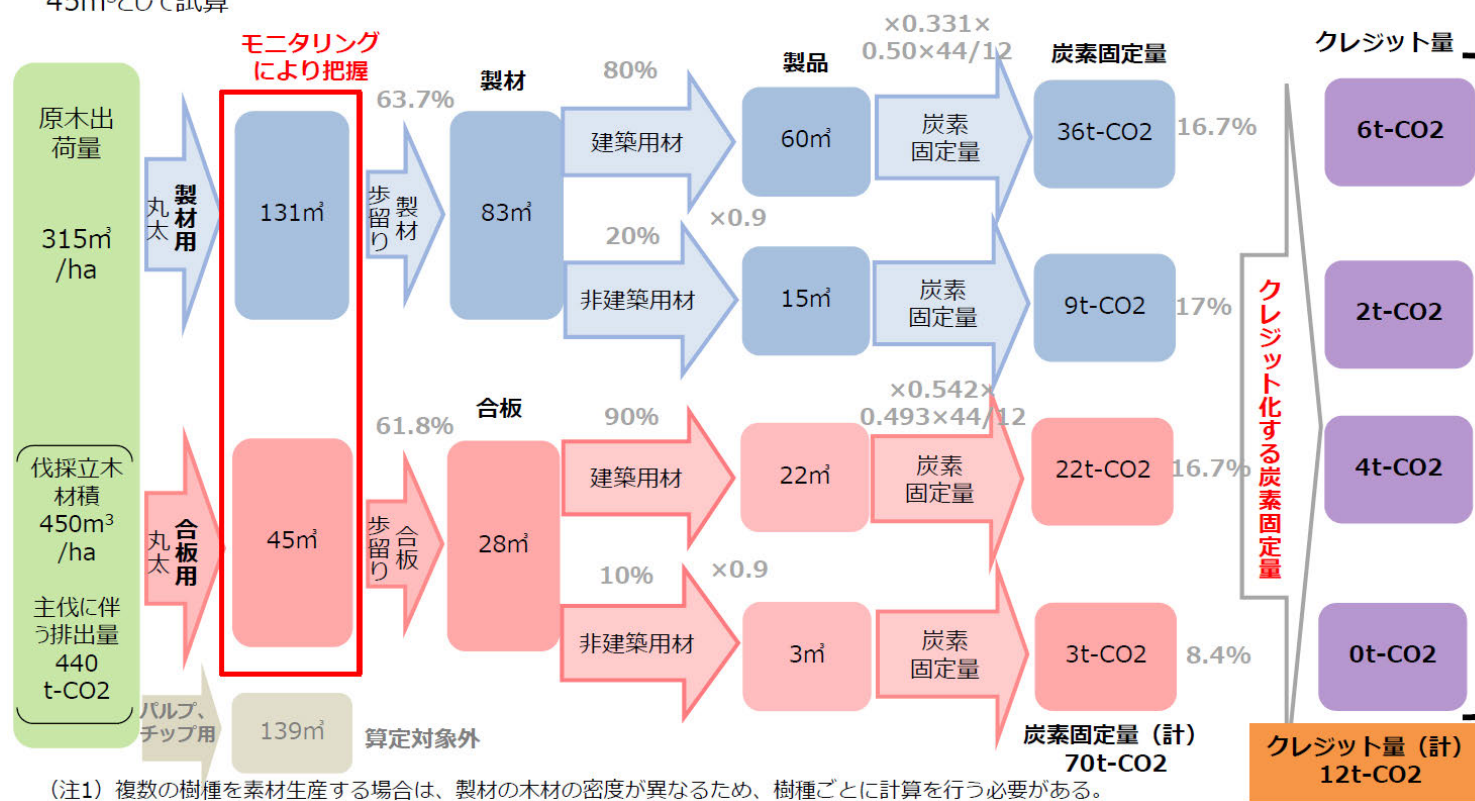
・伐採木材の炭素固定に係る吸収量



改定情報（2022年8月10日～）

・伐採木材の炭素固定に係るクレジットの見込み量

スギ人工林1ha（50年生）を主伐した場合の原木出荷量を315m³、うち製材用丸太出荷量を131m³、合板用丸太出荷量を45m³として試算



18

ご清聴ありがとうございました



株式会社ウェストボックス

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-6-1 RT白川ビル2階

電話 : 052-265-5902

FAX : 052-265-5903

Email : info@wastebox.net

